



明石市立二見中学校  
第3学年(72回生)学年通信  
2019(令和元)年 12月 5日  
第230号

## 400字作文 その2 テーマ①「最近思うこと、考えていること」

**<新しくはじめたこと>**  
最近ずっと頭に中にあることは焦りです。ずっと何かに焦って落ち着きがないと思います。高校受験のプレッシャーや普段の生活すべてにおいて何か不安でいます。頭ではしようと考えていることがなかなかできなかつたり、最近は大変なことも忘れてしまうときがあります。なんでできないんだろうと、自分が気持ち悪くて焦ってしまうのですが、いつまでたってもこんな事を言って良いわけがないと思います。なので最近、「今日すること」の計画を立てるようにしています。文字として残ると、忘れることもないし、無駄な時間も減ると思いましたが、これが続けてできるかは分かりませんが、忘れてしまうことを諦めるんじゃないかと、なにか工夫して直せたらいいなと思っています。あと、プレッシャーに負けないメンタルを作ることです。すぐに駄目とか、弱音をはいてしまうのでそれをやめて受験勉強に集中して取り組みたいです。

**<将来>**  
最近私は将来のことについて考えるようになりました。私はブランドに関する仕事や、英語に関する仕事に就きたいと思うようになりました。英語の授業で尊敬する人のスピーチを作成しました。その時、ココ・シャネルのことを調べました。私はその授業に今までで一番興味を持って取り組むことができました。普段からブランドの物を見たり調べたりするくらいブランドの物が好きなので、将来ブランド関係の仕事についたら一生頑張れると思いました。  
もう一つの英語関係の仕事では、小さい時から英語を習っていて、どの教科よりも熱心に勉強が出来るくらい英語が好きです。最近では英検なども取ったりしました。将来はTOEICなどの検定を取得して海外を飛びまわるような仕事をしたいと思っています。夢は簡単に叶えられるものじゃないから、今のうちから努力して、自分が一生楽しいと思える仕事につきたいです。

**<授業中に思うこと>**  
私は最近クラスの雰囲気が良いと感じている。今は受験に向けてとても大切な時期で、おそらく他のクラスなら緊張感があって、もっとちゃんとしているんだろうなと思う。二学期のテストも終わって、今自分はとても焦っていて、危機感がある。なので、少しでも多く勉強しないとイケないと思って、いつも以上に授業を真剣に取り組もうとしている。  
だけど、最近、授業中の私語や、目配せ、落ち着きのない雰囲気などがあって、集中できない。正直言って、本当に腹が立つ。うるさくしている本人は、怒られてもうるさいなあぐらいにしか思っていないような感じで全く悪いと思っていない。  
この時期に来て平気で授業の雰囲気を壊せる意味が本当に私には分からない。そんなんで「推薦」という言葉を簡単に口にするとするなと思う。早く気づいて、真剣に授業を受けてほしいと思う。

**<雰囲気>**  
私は最近、クラスの雰囲気が大丈夫かなとよく思っている。どうしてかというと、授業の態度が受験生らしくないと感じるからだ。3年生になり、ほとんど全員が提出物を出すようになったが、授業中に寝ている人、友達と話している人が少し多いような気がするのだ。最近あったオープンスクールに来た親に「少し授業中騒がしいね」とも言われた。  
確かに騒がしいのがだんだんと普通になってしまっていることに気がついた。話すときは話す、でいいのだが真面目なときにも話をされていて、私は授業に集中出来ないことが多いし、先生に注意されることがあるのだ。残り四ヶ月でこの雰囲気を変えることができるのかと不安になる。青学年は雰囲気に流されやすいので、それを生かして良い方向に流れてほしいなと思う。私ひとりでは変えられないが、みんなが気づいて変えていき、良い雰囲気になって卒業したいと思う。

**<今の自分にできること>**  
最近、感謝をあまり伝えられていないと思いました。僕は「ありがとう」という言葉を使うのが苦手です。目上の人ならまだ多少は言えるのですが、友人となってくると照れくさくて言えないということが多いです。そこで「ありがとう。」と言う人はどういう人が多いのかと考えました。  
その答えは、「素直」でした。いろいろな人に「ありがとう。」と言っている人は自分に素直な人が多かったです。反面、僕はあまり自分に素直になれないので、「ありがとう。」が言いにくいのかと思いました。もちろん、他の理由もあると思いますが、大きな部分で自分に素直でないところが影響を与えているんだと思いました。  
このことを踏まえて、今からでも少しずつ自分に素直になれるようにしたいと思いました。いつも僕と関わってくれる友達に「ありがとう。」の感謝の気持ちを伝えたらいいなと思いました。

**<出来たときの喜び>**  
最近思うことは、勉強をすることは全く楽しくないが、問題が解けた時はとても嬉しい気持ちになることだ。  
「勉強なんて嫌ー!!」と思うことはたくさんある。なんで自分はこんなことしなければいけないのだろうとたまに思う。特に発展問題を解くとなったら全くやる気が起きない。問題文が長いと読む気がなくなるからだ。しかし、そうは言っていられない。ついこの前数学でもとても難しい問題があった。すごく悩んだが、最後には自力で解くことができた。その時の嬉しさはとても大きかったのだ。これは何事においても同じだと思う。初めてできた時の喜びはどんなものにも変えられない。  
今になって「なんで自分は作文にこんな堅苦しいことを書いてのやろ」と思い始めたが、この嬉しい気持ちは作文にするほど自分にとって喜ぶことだ。これからも問題を解く時には解けた時の喜びを考えて頑張ろうと思う。

**<宇宙>**  
僕は最近宇宙に興味を持っている。宇宙は無限とよく聞くけど、無限とか意味が分からない。かといって、有限だとしても意味が分からない。宇宙は謎が多い。ヒマな時でも少し考えるだけですぐに時間が過ぎるし、とても魅力的だと思う。実際に宇宙に行ったことがないから、本当に宇宙自体があるのか疑問だ。僕は宇宙に行きたいが勉強が大変そうだから宇宙飛行士になりたいとは思わない。僕が定年を迎えるころには安く簡単に宇宙に行けるようになってほしいと思う。  
最近僕は時間がほしいと思うようになった。もしあるならば、宇宙のように広く何も無い所で、友人関係や学校とか入試のことも全部考えなくてよいひとりの時間がほしい。明日は1時間目から国語があって・・・とか、あいつと仲直りしないとな・・・とか、塾がある・・・とか全部忘れてしまいたい。僕は宇宙のように永遠に分からない謎のように、周りから興味を持ってもらえるような人物になりたい。